

概要(P-Plan)	事業概要											
	管理番号	105	事務事業名	民間保育園等整備事業	総合計画体系	章 4	節 2	分野 2	施策 ○	重点P ○	総コスト ○	
	事業概要	今後も就学前児童数の増加が見込まれるなか、待機児童の発生を抑止するため、保育園などを民設民営方式で整備								担当課	輝くこども未来室	
	取組実績											
		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	事業計画	○民間保育園開園										
	事業実績	○施設整備補助 ・社会福祉法人宇治福祉園が実施する幼保連携型認定こども園の整備に対する支援を行った。										
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標	事業進捗率			目標	100	100	100	100			
	単位 %				実績	100	100	100	100			
	指標				目標							
	単位				実績							
	指標				目標							
	単位				実績							
C(評価)	取組評価											
		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している (達成率100%以上)									
		備考										
A(行動)	次年度以降の対応											
		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	2次評価	次年度への方向性	C. 縮小 (コストを減少させる)									
		備考	令和4年度以降は小規模保育事業所の開園に向けた支援を行うため。									

概要(P-Plan)	事業概要												
	管理番号	104	事務事業名	認定こども園整備事業	総合計画体系	章 4	節 2	分野 施策 2	重点P ○	総コスト	5,000		
	事業概要	市北部地域の市立大住幼稚園を、建て替えに併せて地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園として整備するほか、市中部地域における市立幼保連携型認定こども園の整備を検討								担当課	輝くこども未来室		
	取組実績												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	事業計画	○北部市立こども園実施設計 ○北部市立こども園整備工事		○北部市立こども園整備工事		○北部市立こども園開園							
	事業実績	○基本設計 ・北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備に向けて、基本設計及び実施設計を行った。		○整備工事の開始 ・北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備に向けて、大住幼稚園を仮設園舎に移転し、旧園舎の解体工事を行った。									
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	指標	事業進捗率			目標	1.5	25	100					
	単位 % %				実績	1.5	25						
	指標				目標								
	単位				実績								
	指標				目標								
	単位				実績								
C(評価)	取組評価												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)								
		備考											
A(行動)	次年度以降の対応												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	2次評価	次年度への方 向性	A. 拡充 (コストを増加させる)		A. 拡充 (コストを増加させる)								
		備考	整備工事を行うため。		整備工事を行うため。								

概要(P-Plan)	事業概要										
	管理番号	97	事務事業名	各種保育サービス事業	総合計画体系	章 4	節 1	分野	施策 2	重点P ○	総コスト 66,341
	事業概要	市内在住の保育を必要とする就学前児童の保護者の子育てと就労の両立を支援するため、一時的保育事業、病児保育事業の実施、市立保育所などにおける看護師の配置、AIによる保育所マッチングの実施など								担当課	輝くこども未来室
	取組実績										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	事業計画	○一時的保育事業 ○病児保育事業		○一時的保育事業 ○病児保育事業		○一時的保育事業 ○病児保育事業 ○看護師の配置		○一時的保育事業 ○病児保育事業 ○看護師の配置			
	事業実績	○一時的保育事業 ・家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。 ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した。 ○AIによる保育所マッチング ・導入に向けて総務省「地域IoT実装・共同利用推進事業」に応募し、採択を受けた。 ・令和3年度の保育所等新規入所調整において、AIを用いてのマッチングを行った。		○一時的保育事業 ・家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。(延べ利用数5,248人) ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した。(延べ利用数600人) ○AIによる保育所マッチング ・令和4年度の保育所等新規入所調整において、AIを用いてのマッチングを行った。							
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	指標	AIマッチング導入による超過勤務時間の縮減率			目標	-		10	20	30	
	単位 %				実績	-		10			
	指標				目標						
	単位				実績						
	指標				目標						
	単位				実績						
C(評価)	取組評価										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	1次評価	達成度	B. 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		A. 目標を達成している(達成率100%以上)						
		備考	今年度は、導入に伴う検証作業等により、縮減効果は見込めないと想えていたため、目標値は未設定								
	次年度以降の対応										
A(行動)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)						
		備考									

概要(P-Plan)	事業概要										
	管理番号	116	事務事業名	中学校給食施設整備事業	総合計画体系	章 4	節 2	分野	施策 6	重点P ○	総コスト ○
	事業概要	中学校完全給食の早期実現と、ゆとりを持った給食時間のなかで、地産地消などによる京田辺らしい食育を実現するため、施設整備と運営手法について、最も効率的、効果的な方法を検討し、受入中学校への搬入路、受入設備などを整備					担当課	学校給食課			
取組実績											
	令和2年度			令和3年度			令和4年度		令和5年度		
事業計画	○中学校給食共同調理場施設基本設計 ○中学校工事受入設備設計			○(仮称)学校給食センター及び中学校配膳室等に係る実施設計 ○(仮称)学校給食センター等新築工事			○(仮称)学校給食センター等新築工事 ○中学校配膳室等新築工事		○中学校完全給食実施		
事業実績	○中学校給食基本計画の策定。 ○給食調理施設基本設計及び実施設計の策定に着手した(委託期間 令和4年10月まで)			○(仮称)学校給食センター新築工事等基本設計を策定し、実施設計の策定に着手した(委託期間 令和4年10月まで)							
				年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	
指標	中学校給食基本計画の策定の進捗率			目標	100						
単位 %				実績	100						
指標	給食調理施設基本設計及び実施設計の策定の進捗率			目標		50	100				
単位 %				実績		50					
指標	(仮称)学校給食センター等新築工事			目標			1	99			
単位 %				実績							
取組評価											
	令和2年度			令和3年度			令和4年度		令和5年度		
1次評価	達成度	A. 目標を達成している(達成率100%以上)		A. 目標を達成している(達成率100%以上)							
C(評価)	備考										
次年度以降の対応											
	令和2年度			令和3年度			令和4年度		令和5年度		
A(行動)	2次評価	次年度への方向性	A. 拡充(コストを増加させる)	A. 拡充(コストを増加させる)							
	備考		中学校完全給食の早期実現に向け、給食調理施設基本設計及び実施設計の策定を進める。	中学校完全給食の早期実現に向け、(仮称)学校給食センター実施設計の策定を進め、同センターの新築工事を着工する。							

概要(P-Plan)	事業概要										
	管理番号	115	事務事業名	通学路等安全対策事業	総合計画体系	章 4	節 2	分野	施策 5	重点P ○	総コスト 210
	事業概要	地域と学校、行政が協力し、児童が安全に安心して通学できるように、通学路の通学方法や危険箇所の把握と改善対策を実施するとともに、児童に対する防犯対策を推進								担当課	学校教育課
	取組実績										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	事業計画	○通学路安全推進会議の開催(年2回) ○通学路安全点検踏査事業実施		○通学路安全推進会議の開催(年2回) ○通学路安全点検踏査事業実施		○通学路安全推進会議の開催(年2回) ○通学路安全点検踏査事業実施		○通学路安全推進会議の開催(年2回) ○通学路安全点検踏査事業実施			
	事業実績	○通学路安全推進会議の開催 ○通学路一斉調査 ・安全対策必要箇所 3箇所追加 ・平成24年度～令和2年度実施状況(完了124箇所・実施中3箇所・未定6箇所) OPTA通学路安全要望について対応		○通学路安全推進会議の開催 ○通学路一斉調査 ・安全対策必要箇所 2箇所追加 ・平成24年度～令和3年度実施状況(完了123箇所・実施中8箇所・未定10箇所) OPTA通学路安全要望について対応							
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	指標	通学安全推進会議の開催			目標	2	2	2	2		
	単位				実績	1	3				
	指標				目標						
	単位				実績						
	指標				目標						
	単位				実績						
C(評価)	取組評価										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	1次評価	達成度	B. 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		A. 目標を達成している(達成率100%以上)						
A(行動)	次年度以降の対応										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)						
		備考									

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	27	事務事業名	男女共同参画推進事業	総合計画体系	章 1	節 6	分野	施策 3	重点P ○	総コスト 5,310	
	事業概要	男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発、市民、事業者、行政が連携した家庭、地域、学校、職場における取組みの促進、男性の家事・育児参画促進など、ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の推進。活動拠点整備に向けた検討										
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	○男女共同参画週間事業 ○子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ○男女共同参画実践モデル事業 ○女性に対する暴力をなくす運動週間事業			○男女共同参画週間事業 ○子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ○男女共同参画実践モデル事業 ○女性に対する暴力をなくす運動週間事業			○男女共同参画週間事業 ○子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ○男女共同参画実践モデル事業 ○女性に対する暴力をなくす運動週間事業				
	事業実績	○第2次京田辺市男女共同参画計画の進行管理及び第3次京田辺市男女共同参画計画の策定に係る審議 ・男女共同参画審議会・男女共同参画推進会議・ワーキング部会 ○第2次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座 ・女性の活躍事例紹介 ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業（開催3校、464人） ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）等			○第2次京田辺市男女共同参画計画の進行管理及び第3次京田辺市男女共同参画計画の評価方法に係る審議 ・男女共同参画審議会・男女共同参画推進会議・ワーキング部会 ○第3次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座 ・市民等の活躍事例紹介 ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）等							
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標	男女いきいき・さんかくセミナー参加者数			目標	90	60	48	96			
	単位 人				実績	31	48					
	指標	男女共同参画実践モデル事業開催団体数			目標	3	3	3	3			
	単位 団体				実績	0	0					
	指標	全審議会等における女性委員の割合			目標	33	35	36.6	36.8			
	単位 %				実績	34.3	36.4					

C (評価)	取組評価				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1次評価	達成度	C. 目標を達成していない (達成率80%未満)	C. 目標を達成していない (達成率80%未満)	
	備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーは定員を減らして開催した。また、実践モデル事業は開催希望団体がなく、実施することができなかつた	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となったため。		

A (行動)	次年度以降の対応				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持 (コストを同程度に維持する)	B. 維持 (コストを同程度に維持する)	
	備考				